

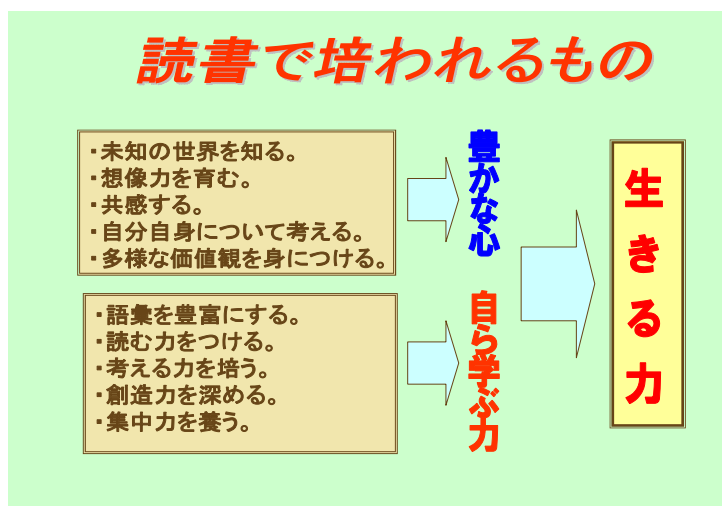
## 1 研究テーマ

### 「生きる力」を育てる読書教育のあり方

#### ～子どもと本を結びつける読書指導の工夫～

## 2 はじめに

学習指導要領の基本的な考え方は、「ゆとり」の中で「生きる力」を育成することである。その生きる力とは、「自分で課題を見つけ、自ら考え、課題を解決する力であり、また、自らを律し、他人とともに協調し、他人を思いやる心など、豊かな人間性」である。



人間の内面を豊かにし、人格の望ましい形成の一助となるものを培う読書活動を推進することは、そのまま「生きる力」につながると言える。では、どうしたら読書活動の推進できるだろうか。

そこで、テーマを「生きる力」を育てる読書教育のあり方とし、研究を深めることにした。

## 3 研究の概要

### (1) 子どもの読書の実態から、問題点を指摘する。

2003 年度の読書調査を通して、今の子どもたちの読書状況における問題点を明らかにするとともに、読書離れの原因を探る中で、「読書指導法」の重要性を示していく。

### (2) 読書指導法についての理解を文献により深め、内容や意義または問題点を指摘する。

### (3) (2)により導かれた読書指導の工夫により「生きる力」を育てるための読書指導法のあり方を検討し、実践する。

## 4 本研究の内容

### (1) 子どもの読書の実態

- ・ 1ヶ月の平均読書冊数。(小学生 8.0 冊 中学生 2.8 冊 高校生 1.3 冊)
- ・ 1ヶ月に全く本を読まなかった不読者。(小学生 9.3% 中学生 31.9% 高校生 58.7%)

- ・ 学校の先生から「読書をよくすすめられる」と回答。（小学生 15.0% 中学生 7.7% 高校生 6.7%）中・高校生では、約 43%がまったくすすめられていないと回答。

（全国学校図書館協議会と毎日新聞社が毎年実施している読書調査の結果より）

### 読書離れの原因

- ・ 読書の楽しさや大切さを実感していない。
- ・ 様々な情報メディアの発達・普及や、受験勉強、習い事、部活動などに時間をとられる。
- ・ 幼児期からの読書習慣の未形成。

（山崎哲夫「何をどう読むか」より）

### (2) 読書指導法についての理解

- ・ 読書感想文      ・ ストーリーテリング      ・ 読書感想画      ・ 読み聞かせ
- ・ 読書郵便      ・ ブックトーク      ・ . . .

そして 今、「**読書のアニメーション**」が注目されている。

これまでの読書活動は、楽しみを授けるという活動であったが、読書のアニメーションは、子どもたち自らが、楽しみを作り出す活動と言える。

### (3) 読書指導法の工夫

#### ☆ 読書の楽しさとの出会いをつくる「読書のアニメーション」

読書のアニメーションとは、スペインのモンセラット・サルト氏らが開発した「子どもが読書を好きになる為のメソッド」である。

アニメーションとは、アニメ（ラテン語の魂）が、生き生きと躍動することで、英語のアニメーションと同義語である。

アニメーションが他の読書活動と大きく違うのは、指導者（アニマドール）が、子どもたちの盛り立て役に回ることである。

アニマドールは、子どもに合わせて、目標を設定し、本をもとにゲームを選び、流れを考える。子どもたちの知的欲求を満たし、好奇心を本の世界に向かわせ、本の中にあるすばらしきものに出会わせることがねらいである。



## 5 実践事例

### (1) 図書館でのアニメーション



#### 作戦 26「ここだよ」

(ガンピーさんのふなあそび)

(登場人物が、読み聞かせの中出てきたら、ペープサートをあげる。)

子どもたちは、空想の世界の中で遊び、楽しみ、共感することができた。

今後、アニメーションを適切に繰り返すことで、想像する力や豊かな感性を育てることになると感じた。

### (2) 国語科としてのアニメーション

「いろいろなふね」(第1学年 説明文教材)

【めざす子どもの姿】

役目や構造に着目し船の特徴を読み取る子ども

作戦1 「読みちがえた 読み聞かせ」

(意図的な読み間違いを見つける作戦)

【めざす子どもの姿】

自分の考えを相手にわかりやすく伝える子ども

作戦12 「前かな、後ろかな？」

(段落のカードを元通りに並べる作戦)

子どもたちは、知らず知らずのうちに、ことばや表現に注目し、それらを根拠にして話し合うことができるようになってきた。また、発言に消極的だったり、集中できなかったりした子どもが、積極的に発言できるようになったり、友だちと協力する楽しさを経験したりできた。そして、一番の成果は、どの子ども生き生きと活動できたことである。

### (3) 休憩時間に

読み聞かせやストーリーテリングなどで、話を聞き終えた子どもたちは、物語を楽しみ、読書へ興味をもつことができた。今後、適切な読書指導法を繰り返すことによって、子どもたちの想像する力や、豊かな感性をそだてることになると感じた。

### 国語科としてのアニメーション

#### ●育てる4つの「読む力」

- ① 読んだことを解釈する力
- ② 記憶にとどめる力
- ③ 評価をする力
- ④ まとめる力

アニメーションをことばに着目した

国語科における学習活動として活用できるのではないか

## 6 研究のまとめと今後の課題

読書指導法について理解を深め、工夫をすることによって、子ども達に読書との出会いをつくり、本の楽しさを伝えることができた。これからいろいろな読書指導法を効果的に活用し、繰り返すことで、生きる力を育てる読書教育をめざしていきたいと考える。もちろん、教師は、子どもの心に寄り添い、そして、私自身たくさんの児童書を読んで、その子にとって大切な1冊を手渡したいと考える。